NPO法人
フードバンクしまね
あったか元気便

理事長　春日邦宣
（松江市民児協連合会副会長）

1

フードバンクとは？

・安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫などの理由で、流通に出すことができない食品を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動　（食品ロスだけでなく善意の寄付）

・アメリカで1967年に開始、
日本では2000年以降に設立

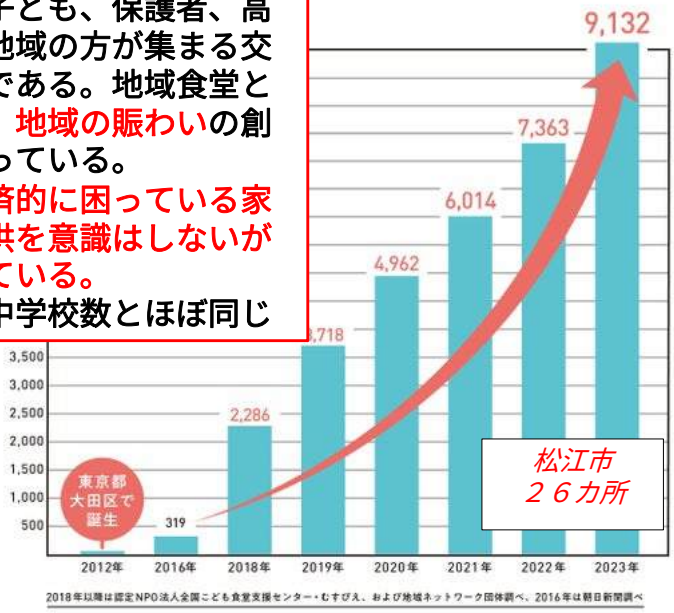
・農水省のデータには215団体が登録（R5/5/31）



2

子ども食堂

色々な子ども、保護者、高齢者、地域の方が集まる交流の場である。地域食堂ともいう。**地域の賑わい**の創出を担っている。
特に経済的に困っている家庭の子供を意識はしないが含まれている。
全国の中学校数とほぼ同じ



3

フードバンクしまねあったか元気便

（1）立ち上げ

① 2018年夏休みから古志原小学校28就学援助世帯の子供を対象として試行的開始

② 2019年6月から任意団体として立ち上げ活動開始

③ 2022年8月にNPO法人に衣替え



4

（2）活　動



① 市民、企業、団体等からお米を中心とした食品やお金の寄付

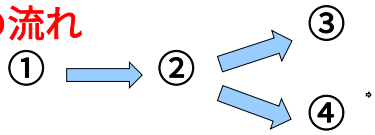
② さまざまな事情で生活に困難を抱いている子どものいる家庭（就学援助世帯）へ年4回長期休みの時期に食品を無償届け（夏休みは2回）
＊４人以上世帯は米を10Kg、３人以下の世帯は５Kg
食品に加えてメッセージを同梱！

③ 松江市内小中学校（４９校）約15,000人の生徒児童のうち 2,200人（1,400世帯）が就学援助世帯の子ども
（1400世帯の約55%（770世帯）が支援を希望）

④ Ｒ７年春休み、24校の約560世帯を支援（7割）

5

（3）食品等の流れ





①フードドライブ（102ヶ所　公民館等）で食料品、お米等合わせて29トン受領（R6年度）

②フードバンクしまねでストック・仕分け（延べ１８２８名ボランティア、R6年度）

③フードパントリー（3ヶ所　JA西津田店、大輪県営住宅、大庭公民館）で、食料品に当日寄贈された野菜やお菓子を添えて配布

④宅配便で③の代わりに配送　（クロネコヤマト）
宅配が３３０世帯、持ち帰りが２２８世帯（R7年春休み）
約4割の世帯が持ち帰り

6

あったか元気便と利用者の関係



7

（４）いろいろな取り組み

学習機会の格差

①お昼ごはん付き寺子屋（小学生）

②応援塾
（中学3年生）



体験活動の格差

③稲刈り

④カヌー

⑤パン作り

⑥クリスマス
パーティー

お母さんのための
レスパイト支援

etc

8